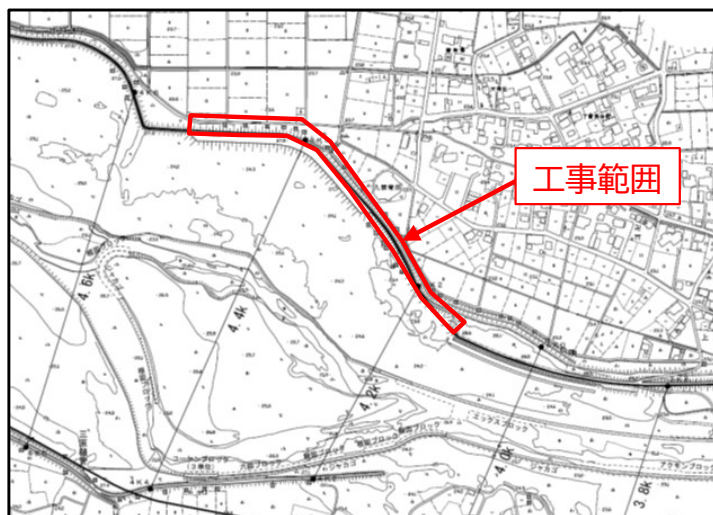


斜め写真

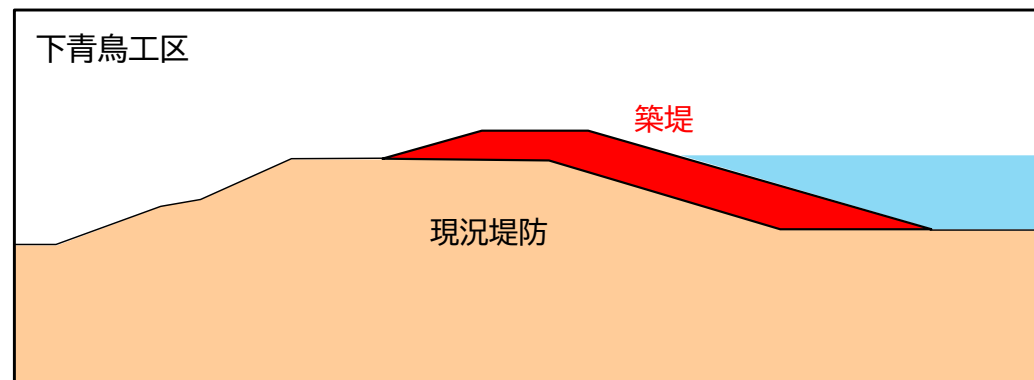


○着 手:令和4年4月
○完了予定:令和5年3月末

平面図



標準断面図



凡 例
[Red line] 工事範囲

工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施します。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 堤防から上流方向



写真② 堤防から下流方向

主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に樹林地と堤防で構成されています。
- ・樹林地は主にクヌギやアカメヤナギが優占する落葉広葉樹林であり、ゴマキが確認されています。樹林地の林床は明るく、ショカツサイ、アケビ、ヤエムグラなどの草花が生育しています。
- ・堤防はチガヤが優占する単子葉草本群落でヤブカンゾウ、ヨモギ、スギナ、カラシナなどが生育しているほか、重要種(植物)も確認されています。アゲハやヒメナガメなどの昆虫類も確認されています。
- ・堤内地側には、水田や畑が広がり、堤防民地側の堤防のり尻部分には重要種(植物)も確認されています。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・堤防敷のゴマキについては、工事に伴い、必要以上に伐採等しないよう留意します。
- ・工事施工範囲周辺では、堤防民地側で生息を確認した重要種情報についても、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有します。